

事業所名

児童発達支援事業所 しえるぱりえ

支援プログラム

作成日

2026 年

6月

15 目

法人（事業所）理念		誰でもが地域の中で共に生きる社会を目指し、自分らしく成長していけるように支援していきます。									
支援方針		子ども一人ひとりの個性を尊重し、発達段階に合わせた遊びや体験を通して、主体性・社会性・自己表現の力を育み本人にとって居心地の良い場所である事を大切にします。本人・家族の願いや思いに寄り添い、出来た事を共に喜び自己肯定感を高めていけるよう丁寧に支援していきます。									
営業時間		9 13	時	30 30	分から	12 16	時	30 30	分まで	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	健康状態の把握（視診・検温） 体調を整える工夫（手洗い・水分補給・換気・衣服の調整） 環境づくり 日常生活動作（食事・排泄・着脱・生活）のスキルの獲得									
	運動・感覚	姿勢保持や運動・動作の基本的技能の向上 リズム運動・遊びを通して、体幹・身体のバランスの能力の向上 感覚遊びや製作を通して手指の巧緻性の向上を促す支援 感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する調整等の支援									
	認知・行動	発達段階に応じた数量・色・形・大小などの認知・概念の習得の支援 日付の確認・天気 スケジュール確認 適切な行動形成（状況の判断） 衝動のコントロールや切り替え等視覚・聴覚・触覚等の感覚を活用し行動へと繋げていく支援 季節の変化に応じたイベントの実施									
	言語 コミュニケーション	適切な言葉使いやコミュニケーション能力の向上に繋がり、人との相対的なやり取りができるような働きかけ（相手の気持ちや自分の思いの伝え方言語・サイン等） 他者との関わりや語彙の引き出しを増やす為の声かけや適切な支援 絵カード、写真等の視覚情報を使つての視覚化									
	人間関係 社会性	挨拶 情緒の安定 自己表現 他者理解 他者との関わり（人間関係の形成）自己理解と行動の調整 活動の中で対人意識の向上の支援 ルールのある遊びや集団への参加意識を高めると共に、成功体験 自己肯定感を感じられるような支援 抽象的な遊び（ごっこ遊びやおままごと等）の中から社会性や想像力の発達の促しを支援									
家族支援		子育ての悩みや困りごとの相談に応じ、本人の成長発達を共有できるよう面談を行います。保護者の交流会や、専門職による個別療育					移行支援		幼稚園や保育園 他事業所との情報連携や調整 ライフステージに合わせた移行に向けた準備や 地域の繋がりを共に考えていく		
地域支援・地域連携		医療機関・児童発達支援事業所・増進センター等の専門機関との連携 個別のケース検討会議、担当者会議への出席					職員の質の向上		事業所内研修（虐待防止事例検討会・感染症対策会議 ・ケース支援会議・ペアレントトレーニング等） 外部研修 他事業所の見学		
主な行事等		季節に合わせたイベント（七夕・夏祭り・ハロウィン・クリスマス・節分等）誕生日会 文化行事 避難訓練（火災・地震・不審者対応・通報訓練） 親子イベントの実施									